

# 事業継続計画

(BCP)

新型インフルエンザ等感染症編 第1版  
(新型コロナウイルス感染症対応)

作成日:2025年4月14日

作成者:扇野 正人 (サービス管理責任者)

所属:NPO法人 敬天愛人会 就労継続支援B型 ぽっぽ

連絡先:電話 075-606-5531

改訂履歴:2025年4月14日 第1版策定

## 目次

第1章 基本方針・発生段階とステージについて P2～

第2章 ステージ0における対応 P3～

第3章 ステージ1における対応 P5～

第4章 ステージ2における対応 P6～

第5章 ステージ3における対応 P8～

第6章 小康期における対応P9～

第7章 再開判断の手順P9

第8章 再拡大への備え P10～

第9章 その他 P10

## 附表等

(被害想定・BCP実施ログ・感染症BCP 記録+報告用サマリー表・検温記録  
様式) P10～

# 第1章 基本方針

自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など、社会に大きく影響を与える事象が多く起こる昨今。そのさまざまな事象に対応し、被害を最小限にとどめ事業を継続していくために、事業継続計画（以下、BCP）を策定するものである。

本計画は、日本国内において新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の大流行が懸念される場合に備え、本法人における実施すべき事前対策、感染防止対応並びに業務の継続・縮小・休止に関する行動基準・実施事項を定めるものであり、基本方針は以下のとおりである。

本計画における新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症に係る呼称は、以下「新型インフルエンザ等感染症」と称する。

## ①利用者の安全確保

利用者は一般人に比べ相対的に体力が弱いことに留意して感染防止に努める。

## ②サービスの継続

利用者の健康・身体・生命を守る機能をできる限り維持する。

## ③職員の安全確保

業務の特性上、職員は一般企業と比べ感染リスクが高いことに留意して感染防止に努める。

## 1) 新型インフルエンザ等感染症 発生段階とステージ

事業所の判断材料として活用し、行政機関の指示とも連携していく

ステージ	発生段階	状態説明
0	未発生期	国内外ともに感染症の発生報告なし
1	海外発生期	海外での感染症発生あり。国内には未到達
2	国内発生早期	国内でも患者発生。全ての感染経路が追跡可能
2	地域未発生期	自地域では感染例なし
2	地域発生早期	地域内でも感染例が見られるが、感染経路が明確
3	国内感染拡大期	感染経路不明の患者が出始め、市中感染が発生
3	地域感染拡大期	地域内でも接触歴不明の感染が広がる
3	小康期	患者数が減少し、一定の収束傾向にある

※地域感染期に至らない状態で、自施設に感染者が発生した場合は、ステージ3に準じた対応を実施する。

### 【使用のポイント】

- ・各ステージに応じて、業務の継続／縮小／中止を事前に想定しておくこと。
- ・感染者が出た場合の対応マニュアルと併用すること。
- ・毎年の感染症流行期（冬期など）前に再確認・訓練を推奨

## 2) 維持すべき業務の分類

業務	内 容	各拠点における業務
A	通常時と同様に継続すべき業務	食事、送迎、作業
B	感染予防・感染拡大防止の観点から新たに発生する業務	利用者家族等への各種情報提供 時差通所の調整 施設内の消毒/感染物の処理、 来所者の体温測定 在宅就労への切り替えの提案
C	規模・頻度を減らすことが可能な業務	会議、面談、第三者の見学や体験の受け入れ
D	休止・延期できる業務	上記以外の業務

※本法人を維持するために、職員への給与支払い、各種物品の調達/整備/修繕、資金繰り、取引先への支払等、人・物品・資金に関する業務も「A」に位置付ける。

## 3) 対応するステージ

本法人のBCPはステージ2の段階で発動する。

## 4) 被害想定

本計画における被害想定は別紙「様式1」のとおりとする。

## 第2章 ステージ0における対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等感染症がまだ発生していない状況であり、対応は、計画のメンテナンス及び周知と、ステージ1以降の緊急時対応を見据えた事前準備が中心となる。

### 1) 対応:石原・扇野

項目	対応事項
計画のメンテナンス	毎年下記項目についてメンテナンスを実施 <input type="checkbox"/> 定めてある業務分類は妥当か <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の情報の反映 (法の改正、被害想定の妥当性など) <input type="checkbox"/> 研修や日々の行動で洗い出された課題
計画の周知徹底	定期的に研修・訓練等を実施 <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の基礎知識の習得 <input type="checkbox"/> BCPの内容理解

緊急時対応の事前準備	体制構築	<input type="checkbox"/> BCPの内容に沿った訓練等 以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 緊急時の役割分担の検討 ・全体統括 ・情報収集 ・利用者家族等への情報提供 ・感染予防対応に関する業務(B)の統括 ・業務継続対応に関する業務(A,C,D)の統括等 <input type="checkbox"/> ステージ3における法人体制の在り方
	感染予防対応	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 利用者家族等との連絡方法の整理 <input type="checkbox"/> 職員に対して、マスク・手洗い等個人レベルで実施する対策に関する事前教育 <input type="checkbox"/> 備蓄品管理 <input type="checkbox"/> 来所者向け検温ルールの整備 <input type="checkbox"/> 職員・利用者向け検温・体調チェックルールの整備 <input type="checkbox"/> ハイリスクの職員(妊婦・慢性疾患等)の把握
	業務継続対応	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 人員と対応能力の評価・分析 ・業務A/Bを遂行するために最低限必要な人員数の把握 ・業務A/Bを遂行するために必要なスキルの把握 <input type="checkbox"/> 出勤情報の集約管理、欠勤可能性検証の方法 <input type="checkbox"/> 備蓄品管理

### ステージ0 対応ポイントまとめ

ステージ	主な状況	感染予防対応	業務対応	情報共有・外部連携
0	国内外で発生なし	手洗い・換気指導の徹底	通常業務	自治体・厚労省からの情報取得

### 第3章 ステージ1における対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等は発生しているものの、施設の周辺地域では感染者が発生しておらず、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化していない状況。

したがって、ここでの対応は、感染状況を中心とした情報収集と、ステージ2以降に実施する「感染予防対応」の準備、並びに「業務継続対応」の実施に関する利用者家族等への事前アナウンスが中心となる。

本事業所は職員数が限られているため以降の全てのステージにおいて**各職員が複数の役割を兼任する**体制で対応する。

役割	担当者
全体統括	石原
情報収集	扇野
利用者家族への情報提供	石原(雄)
感染予防対応に関する統括(主に準備)	土家

項目	対応事項	
情報収集と共有	主に以下に関する情報を収集 <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大状況 <input type="checkbox"/> 国、自治体、保健所等の対応状況 <input type="checkbox"/> 近隣病院、近隣他施設の対応状況	
利用者家族等への情報提供	利用者家族等にステージ2以降実施する対応に関して、情報を事前伝達。 <input type="checkbox"/> 施設来所時のルール ※1 <input type="checkbox"/> 利用者感染(疑)時の対応 ※1 <input type="checkbox"/> 提供業務の縮小・休止 ※2 発生段階の「国内発生早期」以降は、適宜、利用者の現状等の情報を提供する。 ※1→ステージ2参照 ※2→ステージ2,3参照	
感染予防対応の実施	個人対応の依頼	職員/職員の家族/利用者/利用者家族等に、各々が以下を実施するように依頼 <input type="checkbox"/> マスクの着用 <input type="checkbox"/> 手洗い・うがい・咳エチケットの励行 <input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	施設入口とトイレに以下のものを配備し、使用を励行。 <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> フェイスガード

<b>感染予防対応の準備</b>	以下対応を実施 <input type="checkbox"/> 備蓄品のチェック（補足があれば調達） 職員/利用者/利用者家族等に対して、ステージ2以降実施する対応に関して情報を事前伝達する。 <input type="checkbox"/> 施設来所ルール <input type="checkbox"/> 体温、隊長のデイリーチェック <input type="checkbox"/> 業務Dの縮小・休止 <input type="checkbox"/> 感染（疑）者発生時の対応 ※上記詳細はステージ2以降参照
<b>業務継続対応の準備</b>	以下対応を開始する。 <input type="checkbox"/> 出勤情報の集約管理、欠勤可能性検証 <input type="checkbox"/> 職員/利用者に対して、ステージ3以降の実施する以下の対応について情報を事前伝達する。 <input type="checkbox"/> 業務A/B/Dの縮小・休止（ステージ3以降参照）

### ステージ1 対応ポイントまとめ

ステージ	主な状況	感染予防対応	業務対応	情報共有・外部連携
1	海外発生、国内なし	マスク準備・掲示物掲出	A・B 業務重視へ意識切替	家族連絡体制を確認

## 第4章 ステージ2における対応（BCP発動のステージ）

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等感染症の感染者が施設の周辺地域で発生しており、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化している一方で、職員や家族に感染者が発生しておらず、業務継続対応に関する本格対応の必要性はまだ顕在化していない状況。したがって、対応は、感染予防対応の本格実施と、ステージ3以降に実施する「業務継続対応」に関する準備が中心となる。

役割	担当者
全体統括	石原
情報収集	扇野
利用者家族への情報提供	土家
感染予防対応に関する統括	石原
業務継続対応に関する総括	石原

項目		対応事項
情報収集と共有		以下に関する情報を継続して収集のうえ施設内で共有 <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大状況 <input type="checkbox"/> 国、自治体、保健所等の対応状況 <input type="checkbox"/> 近隣病院、近隣他施設の対応状況 <input type="checkbox"/> 職員、職員家族、利用者の感染状況 <input type="checkbox"/> その他利用者家族の感染状況
利用者家族等への情報提供		適宜、以下情報を提供する。 <input type="checkbox"/> 利用者の現状
感染予防対策本格実施	個人対応の依頼	職員/職員の家族/利用者/利用者家族等に、各々が以下を実施するよう依頼 <input type="checkbox"/> マスクの着用 <input type="checkbox"/> 手洗い・うがい・咳エチケットの励行 <input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	<input type="checkbox"/> 消毒 <input type="checkbox"/> 濃厚接触者の来所禁止 <input type="checkbox"/> 情報開示
業務継続対応の準備		以下対応を継続実施する。 <input type="checkbox"/> 時差勤務、欠勤可能性検証

## ステージ2 対応ポイントまとめ

ステージ	主な状況	感染予防対応	業務対応	情報共有・外部連携
2	国内発生（BCP発動）	検温開始・消毒強化 ゾーニング	A・B 継続、C 延期、D 休止	家族連絡体制を確認

## 第5章 ステージ3における対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等感染症の感染者が施設内でも発生しており、感染拡大防止に関する本格対応のみならず、業務継続に関する本格対応の必要性が顕在化している状況。

項目		対応事項
情報収集と共有		以下に関する情報を継続して収集のうえ施設内で共有 <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大状況 <input type="checkbox"/> 国、自治体、保健所等の対応状況 <input type="checkbox"/> 近隣病院、近隣他施設の対応状況 <input type="checkbox"/> 職員、職員家族、利用者の感染状況 <input type="checkbox"/> その他利用者家族の感染状況
利用者家族等への情報提供		適宜、以下情報を提供する。 <input type="checkbox"/> 利用者の現状
感染予防対策本格実施	個人対応の依頼	職員/職員の家族/利用者/利用者家族等に、各々が以下を実施するよう依頼 <input type="checkbox"/> マスクの着用 <input type="checkbox"/> 手洗い・うがい・咳エチケットの励行 <input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	<input type="checkbox"/> 消毒 <input type="checkbox"/> 濃厚接触者の来所禁止 <input type="checkbox"/> 情報開示 <input type="checkbox"/> 時差勤務の実施
業務継続対応の準備		<input type="checkbox"/> 業務の省力化

### ステージ3 対応ポイントまとめ

ステージ	主な状況	感染予防対応	業務対応	情報共有・外部連携
3	地域で流行・複数感染例	通所制限・感染者隔離対応	A・B 継続、C・D 中止	行政・保健所と毎日連絡

## 第6章 小康期における対応

小康期とは感染症の拡大が落ち着き、地域での新規感染者数が減少している状態を指す。完全な収束ではないため、段階的に通常運営へ移行する時期として位置付ける。

項目	対応事項
衛生対策	□マスク・手指消毒・換気は継続。施設内の清掃頻度は高めを維持
利用者支援	□業務Cを段階的に再開
行事等	□行事(業務D)は当面中止を継続。地域イベント参加も原則控える
職員体制	□時差勤務などの感染対応体制を徐々に縮小し、通常勤務への移行を準備
家族・行政対応	□通所再開・支援内容の変更などは速やかに連絡。
記録・検証	□感染症BCPの振り返りを実施。改善点を反映し、次回流行に備えた改訂作業を行う

## 第7章 再開判断の手順

感染症の流行が収束に向かい、小康期と判断される段階では、以下の基準を満たしているかを確認し、段階的な通所・支援業務の再開を検討する。

1. 地域における新規感染者数の減少傾向
2. 利用者・職員に感染者または濃厚接触者がいない
3. 施設内環境が安全に使用できる状態(消毒・換気・ゾーニング等)
4. 最低2名以上の職員が安全に出勤可能
5. 衛生資材・備蓄品の再点検完了
6. 利用者・家族へ通所再開の意向確認および情報提供が完了

上記すべてを満たしている場合、「再開判断チェックリスト」に記入し、管理者の責任のもと段階的な再開を進める。

### 再開判断チェックリスト

項目	チェック欄
地域の感染者数は減少しているか? →YES	□
利用者・職員に感染者は出ていないか? →YES	□
通所経路・施設環境の安全が確認できているか? →YES	□
最低限の職員(2名以上)が出勤可能か? →YES	□
備蓄物資(マスク・消毒等)は十分あるか? →YES	□

## 第8章 再拡大への備え

小康期は「元通り」のようでありながら、支援と予防の両立が求められる重要な時期。油断せず、かつ前向きに、日常を取り戻す歩みを支えていく。

### 再拡大に備えた確認事項

- ステージ2(BCP発動)の対応内容は保管・再確認しておくこと
- 利用者の不安や家庭の事情によっては在宅支援を選択肢に残す
- 備蓄品(マスク・消毒液・手袋等)の再点検を行う

## 第9章 その他

本計画は令和7年4月14日より施行する。

改訂・見直しスケジュール(目安)

初回発行日：令和7年4月14日

次回見直し予定：令和8年3月(年度末)または実際の発動後

### 附表等

#### 様式I 新型インフルエンザ等感染症被害想定

##### 様式I 新型インフルエンザ等感染症被害想定

(死傷者数、流行期間、ピーク時欠勤率等)

政府 想定	感染(罹患)者数	3,200万人	(総人口の25%)
	医療機関受診者数	2,500万人	
	入院者数	200万人	(感染者入院率6.25%)
	死亡者数	64万人	(感染者死亡率 2%)
	流行期間	2カ月	(1回の流行の波に対し)
	感染ピーク時欠勤率	40%	

※政府参考文献

- ・「新型インフルエンザ対策政府行動計画(平成25年6月)」
- ・「新型インフルエンザ等対策ガイドライン(平成25年6月)」新型インフルエンザ等及びインフルエンザ等に関する関係省庁対策会議
- ・「新型インフルエンザ発生時の社会経済状況の想定(一つの例)」(平成21年2月)

## 発生段階ごとの被害想定概要

感染速度		海外発生期	国内発生早期	国内感染期	小康期
		0~2週間後	2~4週間	4~12週間	12週間後~
感染状況		某国で感染発生	国内で感染者第1号が発生	感染者がピーク	感染者は減少し、一部地域では感染が継続
社員の出勤状況		平常通り	一部で欠勤 (家族の感染など)	欠勤率40% 社内感染発生	徐々に出勤回復
社会インフラ	電気 水道 ガス	平常通り	平常通り	一部で支障 (人員不足で障害対応の遅延など)	平常通り
	鉄道 バス	平常通り	発生地域を中心に一部支障	運航減少(鉄道等で間引き運行)	徐々に回復
	航空旅客	発生国からの帰国増加。 国内空港で水際対策開始	平常通り	平常通り	平常通り
	銀行証券			取扱業務の一部縮小 窓口業務の一部中断	徐々に回復
	外部関係先	平常通り	一部で委託業務の遅延・縮小	委託業務の遅延、中断	徐々に回復

【BCP 実施記録様式(感染症対応)】(例)

施設名: \_\_\_\_\_ 記録者名: \_\_\_\_\_

項目	記入内容(日時・状況など)
BCP 発動日	
発動判断者(氏名・役職)	
発動理由(ステージ移行等)	
感染症対策の初動対応	(例) マスク配布、手指消毒液設置、検温開始 など
連絡体制の確認/構築	(例) 職員 LINE・家族電話連絡の実施
利用者通所制限の実施有無	(例) ○全員在宅支援に切替 ○一部制限 ○通常通所継続
備蓄物資の使用状況	(例) マスク 50 枚/アルコール 2 本使用
感染者(または体調不良者)発生状況	(例) なし/1 名発熱、PCR 検査へ
外部連絡(保健所・行政等)	(例) 保健所へ連絡済(2025/12/3 10:00)
記録した写真の有無/内容	(例) マスク掲示、玄関ゾーニング状況など
振り返り/次回 BCP 見直し用メモ	

感染症BCP 記録+報告用サマリー表(例)

日付	ステージ	主な対応内容	通所状況	感染者の有無	備考
2025/4/3	ステージ 2	BCP 発動/マスク・消毒強化	一部在宅対応	なし	家族へ一斉連絡済み
2025/4/4	ステージ 2	ゾーニング実施・検温開始	通所制限継続	発熱者 1 名(自宅療養)	保健所に経過報告
2025/4/5	ステージ 3	通所完全停止/在宅訓練開始	全員在宅支援	PCR 陽性 1 名	管理者に報告
2025/4/6	ステージ 3	職員リモート対応/備蓄再確認	全員在宅支援	増加なし	避難用備品一部再補充
2025/4/10	小康期	再開検討会議/施設内清掃強化	全員在宅継続	なし	再開チェックリスト準備中
2025/4/12	小康期	通所再開(段階的)	3 名通所/7 名在宅	なし	家族に説明書送付済

## 検温記録様式(例)

施設名: \_\_\_\_\_ 期間: \_\_\_\_年\_\_月\_\_日～\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

日付	氏名	体温 (朝)	体温 (昼)	体温 (夕)	自覚症状(咳・倦怠感 など)	備考
2025/4/10	山田 太郎	36.5℃	36.7℃	36.6℃	なし	通常通所
2025/4/10	佐藤 花子	37.1℃	37.3℃	37.0℃	微熱、少し咳あり	自宅待機
2025/4/11	山田 太郎					
2025/4/11	佐藤 花子					